

関西M a a S推進連絡会議の開催について（案）

1 目的

M a a Sの取組は日本全体で広がりつつあるが、住民や観光客等の利便性を向上させるためには、交通モード・業種横断的に幅広い事業者間で連携し、広域的なM a a Sが提供される必要がある。

特に、ここ近畿地方においては、2025年に大阪・関西万博を控えるとともに、豊富な観光資源を有していることから、広域的なM a a Sの活用による効果は大きいと期待される。具体的には、多様な移動者・来訪者に対するシームレスなサービスの提供、交通機関及び道路の混雑緩和、回遊性の向上等が図られることにより、効率的かつ快適な移動等による個々人の満足度向上のみならず、都市・地域の活力や魅力向上、広域での経済効果の波及等の相乗効果の創出が見込まれる。

そこで、M a a Sの取組に関して、交通・観光分野をはじめとする幅広い業種間での連携を促進し、取組を協同で実施していくという目的で、関西M a a S推進連絡会議を開催する

2 構成員等

- (1) 本会議の構成員は、別紙の通りとする。必要に応じて構成員を追加又は構成員以外の者が出席することができる。
- (2) 年1回程度開催する（ただし、必要性等に応じて適宜開催頻度を増減する）。

3 幹事会

- (1) 本会議での議論を進めるため、本会議の下に幹事会を設置し、年数回程度開催する（ただし、必要性等に応じて適宜開催頻度を増減する）。
- (2) 幹事会には、本会議の構成員が所属する構成機関・団体から出席者を出すこととする。必要に応じて、これら機関・団体以外の者が出席することができる。

4 会議及び資料の取扱い

- (1) 本会議及び幹事会は原則非公開とする。ただし、本会議の開催概要については公表する。
- (2) 本会議又は幹事会で使用した資料は、それぞれ当該構成員に確認の上、公開することができる。

5 その他

本会議や幹事会の庶務は、近畿運輸局交通政策部において行う。

関西MaaS推進連絡会議 構成員名簿

1. 経済団体	役職	氏名
(公社)関西経済連合会	副会長 都市・観光・文化委員会委員長	角 和夫
大阪商工会議所	副会頭	黒田 章裕
2. 観光・万博関係団体		
(一財)関西観光本部	代表理事・専務理事	東井 芳隆
(公財)大阪観光局	理事長	溝畑 宏
(公社)2025年日本国際博覧会協会	副事務総長	竹内 廣行
3. 交通関係団体(※:関西MaaS検討会)		
関西鉄道協会	会長	遠北 光彦
※大阪市高速電気軌道株式会社	代表取締役社長	河井 英明
※近鉄グループホールディングス株式会社	代表取締役社長	小倉 敏秀
※京阪ホールディングス株式会社	代表取締役社長	石丸 昌宏
※南海電気鉄道株式会社	代表取締役社長	遠北 光彦
※西日本旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	長谷川 一明
※阪急電鉄株式会社	代表取締役社長	杉山 健博
※阪神電気鉄道株式会社	代表取締役社長	秦 雅夫
近畿バス団体協議会	会長	塩川 耕士
近畿ハイヤータクシー協議会	会長	坂本 栄二
阪神高速道路株式会社	代表取締役社長	吉田 光市
4. 地方公共団体等		
関西広域連合	本部事務局長	山下 芳弘
大阪府	副知事	田中 清剛
大阪市	副市長	高橋 徹
5. 地方支分部局		
近畿総合通信局	局長	淵江 淳
近畿経済産業局	局長	伊吹 英明
近畿地方整備局	局長	東川 直正
近畿運輸局	局長	金井 昭彦

- MaaSは、モード・業種横断的に幅広い事業者間で連携し、広域的に提供されることで利用者の利便が増進。
- 特に関西地方においては、2025年に大阪・関西万博を控えるとともに、豊富な観光資源を有していることから、広域的なMaaSの活用による効果は大きいと期待される。
- MaaSの取組に関して、交通・観光分野をはじめとする幅広い業種間での連携を促進し、取組を協同で実施していくという目的で、関西MaaS推進連絡会議を設置する。

